

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場会社名 株式会社 寺岡製作所  
 コード番号 4987 URL <http://www.teraokatape.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

上場取引所 東

(氏名) 寺岡 敬之郎  
 (氏名) 城田 正  
 配当支払開始予定日 平成21年12月1日  
 TEL 03-3491-1141

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	10,961	△18.2	118	△74.3	114	△78.7	60	△81.3
21年3月期第2四半期	13,395	—	459	—	536	—	320	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	3.00	—
21年3月期第2四半期	15.96	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	31,185	23,484	75.3	1,169.56
21年3月期	31,849	23,416	73.5	1,166.13

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 23,484百万円 21年3月期 23,416百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	3.00	10.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	△15.2	200	412.8	240	224.3	170	—	8.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 20,081,955株 21年3月期 20,081,955株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,880株 21年3月期 1,507株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 20,080,117株 21年3月期第2四半期 20,081,006株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお上記予想に関する事項は、「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、工業生産や輸出が徐々に持ち直し景気の底打ち感が出てきたものの、設備投資の回復の遅れや失業率の上昇による個人消費の低迷、さらには急激な円高の進行が輸出企業に影響を及ぼす懸念が出てくるなど、経済環境は依然として厳しく、先行きは不透明感の強い状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、全社を挙げて経営の効率化、諸経費節減に積極的に取り組み、原価低減化による体質強化に注力してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、109億61百万円(前年同期比18.2%減)と僅かではありますが予想を上回ることができました。収益面におきましても、営業利益は、1億18百万円(前年同期比74.3%減)となり、経常利益は1億14百万円(前年同期比78.7%減)、当四半期純利益は60百万円(前年同期比81.3%減)といずれも前年同期比大幅減益ではありますが予想に対しては若干ながら上回る利益を確保いたしました。

製品部門別の連結売上状況は、以下の通りです。

梱包・包装用テープにつきましては、通信販売向けが堅調でありましたが、景気後退による荷動きの低迷や、外国製品等の安価品との競争が激化しており、売上高は22億50百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

電機・電子用テープにつきましては、薄型テレビ、携帯電話、ゲーム機等のデジタル機器製品用テープの販売に一部回復が見られましたが、全般的には本格的回復とは至らず、売上高は、55億70百万円(前年同期比19.2%減)となりました。

産業用テープにつきましては、全体的には建築、リフォーム関係の低迷が引き続き継続している影響を受け、売上高は、31億41百万円(前年同期比18.2%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2.1%減少し311億85百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1.6%増加し153億80百万円となりました。これは、主として売上債権の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ5.4%減少し158億5百万円となりました。これは、主として減価償却費の計上による償却資産簿価の減少によるものです。

当第2四半期末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ8.7%減少し77億円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ9.8%減少し52億49百万円となりました。これは、主に設備債務の減少によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ6.1%減少し24億51百万円となりました。これは、主に長期借入金から1年内長期借入金への振り替えによるものです。

当第2四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ0.3%増加し234億84百万円となりました。これは、主に保有株式の時価が一部回復したことに伴う有価証券評価差額金の増加等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の73.5%から75.3%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ42百万円減少し60億86百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、15億61百万円となりました。これは、主に減価償却費等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、14億79百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得に伴う設備債務の決済によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は、76百万円となりました。これは、主に配当金の支払いによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、依然として景気先行きの不透明感が拭えず、予断を許さない状況が続くと思われますので、前回予想発表数値の変更は行っておりません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,086	6,128
受取手形及び売掛金	6,202	5,279
商品及び製品	548	576
仕掛品	1,381	1,385
原材料及び貯蔵品	911	1,228
その他	261	543
貸倒引当金	△12	△10
流動資産合計	15,380	15,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,502	2,055
機械装置及び運搬具(純額)	5,292	3,664
土地	3,784	3,784
建設仮勘定	166	4,116
その他(純額)	272	304
有形固定資産合計	13,018	13,924
無形固定資産	155	198
投資その他の資産		
投資有価証券	2,150	1,899
その他	512	726
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	2,631	2,594
固定資産合計	15,805	16,717
資産合計	31,185	31,849
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,487	3,306
短期借入金	13	35
1年内返済予定の長期借入金	375	125
未払法人税等	60	—
その他	1,312	2,354
流動負債合計	5,249	5,821
固定負債		
長期借入金	2,125	2,375
引当金	148	28
負ののれん	89	101
その他	88	106
固定負債合計	2,451	2,611
負債合計	7,700	8,432

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,904	3,904
資本剰余金	3,491	3,491
利益剰余金	16,030	16,030
自己株式	△1	△0
株主資本合計	23,425	23,425
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	232	83
為替換算調整勘定	△172	△91
評価・換算差額等合計	59	△8
純資産合計	23,484	23,416
負債純資産合計	31,185	31,849

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	13,395	10,961
売上原価	10,482	8,218
売上総利益	2,913	2,742
販売費及び一般管理費	2,454	2,624
営業利益	459	118
営業外収益		
受取利息	5	0
受取配当金	43	24
負ののれん償却額	15	12
為替差益	7	—
受取補償金	—	26
その他	29	39
営業外収益合計	101	104
営業外費用		
支払利息	3	25
為替差損	—	62
たな卸資産廃棄損	12	—
固定資産除却損	7	11
その他	1	8
営業外費用合計	24	108
経常利益	536	114
特別損失		
投資有価証券評価損	85	—
特別損失合計	85	—
税金等調整前四半期純利益	450	114
法人税等	130	54
四半期純利益	320	60

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	450	114
減価償却費	649	1,195
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	120
受取利息及び受取配当金	△48	△25
支払利息	3	25
投資有価証券評価損益 (△は益)	85	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△152	△951
たな卸資産の増減額 (△は増加)	162	338
仕入債務の増減額 (△は減少)	△518	199
その他	356	415
小計	986	1,432
利息及び配当金の受取額	48	25
利息の支払額	△3	△25
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△272	127
営業活動によるキャッシュ・フロー	759	1,561
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△881	△1,466
無形固定資産の取得による支出	△13	△12
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△896	△1,479
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	△16
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△139	△60
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171	△76
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	△47
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△281	△42
現金及び現金同等物の期首残高	6,039	6,128
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	53	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,810	6,086



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. [事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）及び  
前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める粘着テープ事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

b. [所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）及び  
前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメントの記載を省略しております。

c. [海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	アジア	北米	欧州	その他	計
海外売上高(百万円)	3,074	75	78	5	3,232
連結売上高(百万円)	—	—	—	—	10,961
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	28.0	0.7	0.7	0.0	29.5

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	アジア	北米	欧州	その他	計
海外売上高(百万円)	3,479	158	118	6	3,761
連結売上高(百万円)	—	—	—	—	13,395
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.0	1.2	0.9	0.0	28.1

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。